

【災害時】与薬の依頼に関する要項

石川県立ろう学校

(1) 災害時の与薬に関する考え方

日常的に医師より処方された薬を服用している幼児児童生徒が、大規模災害時に帰宅困難となった際に、事前に依頼を受けた内容について、保護者に代わり与薬する。

(2) 災害時の与薬依頼を受ける薬の範囲

- ・現在の症状を診察された主治医から処方された薬であること。
- ・原則、日常的に内服している定期薬のみとする。
- ・与薬時に血圧等、症状経過の時間観察を必要とするものでない。

(3) 対象

- ・すべての幼児児童生徒

(4) 手続き

- ・チェックリストを確認後にを入れる。
- ・【災害時】与薬依頼書（別紙）、当該薬品 2 日分及び係る薬剤情報提供書の写しについて下記（5）方法を参考にし、災害時個人用備蓄品のリュック等へ入れ提出する。その際、担任へ与薬依頼書がある旨伝える。
- ・与薬内容に変更があった際は、その都度再提出をする。
- ・各学期終了時に保護者に災害時個人用備蓄品とともに返却する。

(5) 方法

- ① 保護者は、薬の 1 回分をひとまとめ（ナイロン袋やホッチキス等）にし、袋や容器に用法と名前を書いたもの（例：昼食後 ろう学太郎） 2 日分と関係する書類を担任に預ける。
- ② 薬は学期ごとに返却しますので、薬の使用期限等を確認し新学期までに内容を更新し持参する。
- ③ 災害時には電気が使用できない場合が想定されるため、冷所保管の薬は預かることができません。
- ④ 服薬に特別な配慮が必要な場合（服薬ゼリー等）は、与薬依頼期間中、常温で保管可能なもののみ預かります。
- ⑤ 災害時に与薬を担当することが想定される教職員は、依頼を受けた際に、与薬依頼書・薬品・薬剤情報提供書を照らし合わせ、齟齬がないことを確認したうえで受理し、有事の際、確実に与薬を行う。

【災害時】与薬依頼書

石川県立ろう学校長 あて

日常的に服薬を必要としていますので、大規模災害により帰宅困難となった場合、やむをえず、私に代わり下記の通り与薬を依頼します。

令和 年 月 日
保護者氏名

部 年 組 氏名				
病名又は症状				
医療機関	病院・医院 < 電話 >			
	用法	薬品名	用量	備考
【記入例】 朝	食前 食後 就寝前	アレグロ錠25mg カロナール細粒	2錠 1包	水に溶いて スプーンで
朝				
昼				
夕				
その他				

【災害時】与薬依頼書提出前 チェックリスト

- (別紙) 要項について理解した。
- 依頼する薬品は日常的に服薬している内服薬である。
- 朝昼晩その他、上記記載の通りの薬品を2日分準備した。
- 薬剤情報提供書の写しを添付した。
- (可能なかぎり) 与薬依頼内容について本人に家庭で説明した。